

Intelの3D XPoint戦略

3D XPointの市場がこれ程までに小さいのは、Intelにとって不利だ。それは、大量生産への道が閉ざされているからだ。大量生産無しでは、生産コストは高止まり、おそらくDRAMよりも高いままになってしまう。それでもIntelは、消費者を納得させるためにDRAMよりも安い価格で3D XPointを売らなければならない。つまり、Intelは市場を確立するためには赤字を出さなければならない、ということだ。

このやり方は、他社では到底採算がとれない。しかし、Intelにとっては話が別だ。3D XPointメモリーのお陰で、Intelは高価なプロセッサも売ることができる。これによって、3D XPointで被った損失を穴埋めしているのだ。